

やまがた

平成16年4月15日発行

CONTENTS

- 平成16年度 山方町予算
- 新市まちづくり計画の概要
- 山方南小学校 校章・校歌披露式
- 医療福祉費支給制度のご案内
- 山方町地球温暖化防止実行計画を策定
- 教職員・町職員人事異動

4

No.353





63
億
4
千
4
0
0
万

平成16年度山方町予算

安心して暮らせる社会環境
人にやさしい良好な住環境を目指して

今年10月16日の5町村合併が決定し、山方町として最後となる平成16年度予算が、3月の定例議会において可決されました。平成16年度予算編成では、厳しい財政状況の中、限られた財源の重点的、効率的配分に努め、一般会計と8特別会計をあわせ予算総額63億4,450万円となりました。この予算の中で、住民生活の質の向上に直結し、次の世代への発展基盤となる行政を行っていきます。それでは、具体的に“平成16年度のまちづくり”がどのように行われるのか「予算に関する町長説明」を掲載し、平成16年度の主な事業についてお知らせします。なお、この予算に計上された事業は、合併後も継続して行われることになっています。

平成16年度予算に関する

町長説明（抜粋）

平成16年度の予算編成にあたりましては、国の三位一体改革における補助金の縮減により苦渋の選択を余儀なくされ、今年10月中旬の町村合併と相俟って、山方町として最後の予算編成となり、これらを視野に入れた編成となりました。限られた財源を重点的かつ効率的な配分に努め、思いきった事務事業の見直しを行うほか、地方財政計画指針に基づき、極力歳入の確保に努め、歳出においては、一般経常経費の縮減を図ると共に投資的経費の確保に努めて、重要施策課題の具現化を図り、本町の地域資源を有効活用した地域振興を図るため、新しい地域産業が創出できる土壌づくりや本町の恵まれた自然・伝統・地域文化・祭などの交流資源の活用、温泉施設、地域特産品販売施設等の活用により、町民の雇用拡大に繋がる施策を推進してまいります。更に安心して暮らせる社会環境整備や、人にやさしい良好な住環境を整備し、分譲地の造成等豊かで住みよい町づくりを進める基盤づくりや、町民生活の質の向上に直結する分野及び次の世代への発展基盤となる分野への重点配分に努めました。

本年度重点施策は

本年度の重点施策といたしましては、野上原駅周辺整備事業をはじめ、各種整備事業についても、引き続き実施してまいり、長期的展望では第3次総合計画、過疎地域自立促進計画等の主要施策事業につきましては、合併後の新市建設計画に盛り込み、山方地域発展のために一層

の努力をし、住みよいまちづくりを進めていく所存であります。

まず、過疎対策と若者の定住基盤の確立を図るため、新住宅団地の整備促進及び公営住宅の改築等を図ると共に、既存企業の充実、奥久慈グリーンラインの整備促進、野上原駅周辺整備、神奉地区交流ゾーン整備計画の促進、道路網の整備、農林水産業、商工業、観光等産業の振興を進め、町発展基盤づくりに努めます。

学校教育に関しましては、新しい学習指導要領に基づき、更なる対応と次代を担う児童・生徒が心身共に健康で、国際化時代に対応できる人間形成を目指す教育環境を図ってまいります。

また、簡易水道事業、宅地開発分譲事業、農業集落排水事業、介護保険事業、公営墓地事業及び戸別浄化槽整備事業等に対し財政援助を行い、環境汚染対策や介護保険制度の充実、少子化対策等福祉の充実、健康づくりと保健予防の充実を図り、安全で快適な生活ができる環境づくりを進めます。

本町の美しい自然環境や町の特性を有効に活用するため、三太の湯を中心に22世紀の森の充実等を進め、山方町としての最後のイメージアップに努めてまいります。さらに伝統文化を継承しつつ、国際化、高度情報化に対応できる心豊かな個性と創造性に富む人づくりを進めるほか、町民がいつでも、どこでも生涯学習や芸術文化・スポーツ活動へ参加できる機会の提供等、均衡ある発展を目標に全力を傾注して事業推進にあたる考えであります。また、今年10月中旬に合併を控え、年度途中で決算という変則的な年度になりますが、今年度の主要事業につきましては、できるだけ早期発注・早期完成を目指してまいります。

具体的施策としては

具体的施策といたしましては、引き続き本町産業経済の発展並びに町民生活及び生産活動に直結する交通体系の確保を図るため、まず町道整備では、高井釣線外5路線、舗装では小貫南部地区外4路線、町道防災排水工事では市の沢地区外4路線、農道改良では須田道西地区を実施するほか、過疎対策の一環として行う宅地開発分譲事業及び生活環境の整備を図るため、農業集落排水整備事業及び簡易水道事業特別会計への財政援助、また、今年度から新たに導入します戸別合併処理浄化槽整備事業を進めてまいります。

【生活安全対策】

生活安全対策では、山方町生活安全に関する



条例に基づき、安全で住みよい町づくりを行うほか、バリアフリー歩道の整備を進めます。また、地域防災計画に基づき、消防組織の充実強化と施設整備に努めると共に、山方町女性防火クラブの充実、更に、地すべり地区の観測業務を引き続き行い、防災体制の強化を図り、町民が安心して暮らせる町づくりに努力してまいります。

【交通安全対策】

交通安全対策では、道路防護柵等及び案内標識等交通安全施設の整備を図ると共に、増加している交通事故に対処するため、交通安全教育及び交通安全指導に努めるほか、交通安全運動を展開し、交通安全意識の高揚を図り、交通事故の撲滅に努めてまいります。

【産業の振興】

次に産業の振興であります。まず、町の基幹産業であります農林業では、就業者の減少・高齢化と相俟って、減反政策の強化等により、遊休農用地の拡大等生産基盤が脆弱化していく中、今年度から新たな生産調整事業に移行されることから、食糧自給率



の向上を目指し、関係機関が一体となった諸施策の推進が極めて重要となっており、このため、中山間地域直接支払事業の推進等農業の振興を図ると共に、小規模水田基盤整備に対し助成、新田園空間創造整備事業をはじめ、農業基盤整備事業等、国・県の補助事業を効率的に導入

し、新しい農業の確立と生産の近代化等により農業振興を図り、魅力と活力ある農業の展開を図ります。また、農業従事者の高齢化や農業離れによる農地の荒廃に対処するため、農作業の受託事業の充実に努めます。更に、農林水産直売・食材供給施設を核に新しい特産品の開発や農産物の消費拡大と販売促進を行います。

【水産振興】

水産振興では、引き続き、ヤマメ等の冷水性魚の養殖事業に取り組んでまいると共に、久慈川漁業協同組合への助成に努めてまいります。

【林業振興】

林業振興では、自然環境の保全に配慮しつつ、引き続き間伐作業道の整備、森林整備担い手対策事業外の助成事業を活用し、林業の振興を図ってまいります。また、100年先を目標として町有林を保護し、将来にわたって優良大径木の確保並びに優れた自然環境保護林として保持する施策に努めてまいります。更に、木造住宅の建設と地域産業育成のため地域生産材使用住宅建設に対する助成事業、緑化思想の趣旨普及事業等を推進し、林業の振興に努めます。

【商工業の振興】

商工業の振興では、IT関連産業の不況や輸出の減少など中小企業を取り巻く厳しい経営環境が続く景気の低迷が進む中、融資制度の活用と既存企業の充実、中小企業対策等の強化に努めるとともに、商工会への助成を行い、商工業の振興を図ってまいります。

【観光の振興】

観光の振興につきましては、三太の湯を核とした地域振興を図ると共に、既存施設の充実やハイキングコースの整備を進め、観光協会への助成を行い、引き続き、あゆの里まつりや芋煮



会を開催し、内外に観光「山方」をアピールしてまいります。また、22世紀の森を中心とした環境づくりに努め、ホテルを見、河鹿の音が聞けるような癒しの場を提供し、山紫水明のふるさとづくりを推進してまいります。

【福祉対策】

次に福祉対策であります。少子・高齢化社会に対応した町づくりを推進するため、高齢福祉では引き続き百寿祝金制度を推進してまいり、さらに高齢者のニーズに対応した福祉施策を展開するため、シルバー人材センターの活用を進めます。また、介護保険制度の円滑な運営、地域ケアシステム推進事業、在宅福祉サービスセンターや在宅介護支援センター等を活用し、手厚い介護システムを確立し老人福祉の向



上に努めます。

また、少子化の進行は、労働力人口の減少をもたらすなど、社会経済活動全般に大きな影響を与えることから、出生率の向上を図ると共に、安心して子供を産み育てられるよう、出産奨励金の実施や児童手当の拡充、妊産婦医療費制度の充実、乳

幼児及び母子健診等、母子保健事業の充実並びに放課後児童健全育成事業を実施すると共に、子育て支援事業等を行い安心して子供を産み育てられる環境づくりに努めるほか、母子福祉、児童福祉、青少年対策等の施策を推進し、少子化問題に対応できる環境づくりを行います。さらに各種予防接種事業の推進、食生活の改善、婦人の健康づくり、疾病予防対策事業である各種健康診査等の事業を行います。

医療の確保につきましては、中核総合病院の誘致建設が決定したことにより、平成18年度開院を目指し、本年度から関係町村共々本格的に取り組んでまいります。

障害者福祉対策では、障害者が自立し自由に社会参加ができるよう、日常生活用具援助事業をはじめ各種事業等に対し支援し、障害を持つ方々が暮らしやすい町づくりを推進します。

【環境保全対策】

環境保全問題では、地球温暖化等に対応する

ため、山方町地球温暖化防止実行計画に基づき、温室効果ガスの抑制を図り、ゴミの減量化、ゴミ収集事業の充実強化など、循環型社会の形成に努めるほか、引き続き住宅用太陽光発電システム設置や生ゴミ処理機などの助成を行い、住環境の整備を図ると共に、町民一人ひとりが日常生活の中で環境との関わりについて認識を新たに、環境に配慮した行動が実践できる環境監視員など、ボランティアの体制強化に努め、ゴミのない快適な生活環境づくりを行います。



【学校教育】

次に、学校教育につきましては、きめ細かな指導及び効果的な学習が図られるよう「IT特別配置事業」を実施すると共に、学習指導補助教員を配置し、少人数学級の指導充実に努めてまいります。各学校教育施設の整備につきましては、山方中学校テニスコートの改修、山方南小学校水泳プール塗装工事など施設の整備をしております。また、近年増大の傾向にある教育費の軽減措置として教育ローン利子補給制度を継続してまいります。

【生涯学習】

生涯学習とスポーツ・文化の振興では、豊かで活力ある地域社会の構築を目指し、町民に多様な学習機会を提供するため、また、IT社会に対応できるようIT基礎技能講習会と、各種

学級講座を引き続き行うと共に、生涯学習施設等の整備を図ってまいります。

また、人間生活の基本は健康であるとの認識に立ち、各種球技大会や町民の体力づくりに直結するスポーツの振興発展に努めるほか、町村合併に伴い、山方町最後となる体育祭や体育協会を中心とした各種事業を展開してまいります。更に、文化協会等の充実を図り、文化の薫り高いまちづくりを目指してまいります。

【事務事業】

事務事業では、行政サービスの向上に努めるため、情報基盤整備事業業務・住民基本台帳ネットワークシステム等の高度利用を図ってまいります。



●野上原駅周辺整備事業

15年度は、駅への導入路（幅員約9m、延長80m）、ロータリー、駐輪場を整備しました。平成16年度には、駅舎、トイレの整備などを行います。

・実施設計	1,300千円
・整備事業費	47,000千円

●町道整備事業

町道改良工事4路線、舗装工事5路線、防災排水工事5路線の整備を行います。

・町道等測量設計	19,900千円
・町道改良工事	40,200千円

- ⑤-417号線（高井釣線）
- ③-980号線（原道西線）
- ④-874・919号線（小貫地区）
- ③-964号線（篠の沢線）

・町道舗装工事	16,700千円
---------	----------

- ④-910号線（小貫南部線）
- ②-168・169号線（舟生牛徳線）
- I級8号線（羽原線）
- ⑤-118号線（上山線）
- ④-916号線（河原線）

・町道防災排水工事	41,400千円
-----------	----------

- I級7号線（下長久保地区）
- ③-1141号線（旧国道）
- ⑤-549号線（梶畑地区）
- I級9号線（中丸線）
- 市ノ沢地区

・ガードレール等設置工事	700千円
--------------	-------

・道路補修・町道等草刈	28,150千円
-------------	----------



安心して暮らせる 社会環境 人にやさしい住環 境のために

●住宅団地分譲事業（特別会計）

野上流田地区に敷地約3.4ha、分譲区画数約52区画を造成します。

・造成工事設計監理	3,000千円
・造成工事費	109,150千円

●町営住宅整備事業

野上金田町営住宅建替えによるバリアフリー化を進めます。

・野上金田住宅建替え事業費	90,000千円
---------------	----------

●奥久慈グリーンライン 整備事業

県の事業として平成7年度から整備が進められています。今年度も引き続き工事が進められます。

・県への負担金	67,000千円
---------	----------



平成16年度の 主な事業と予算

●地域づくり事業への助成

それぞれの地域の特色を生かした地域づくりを行う団体や個人に対し、50万円を限度として助成金を交付します。

・助成金	1,000千円
------	---------

●上下水道事業（特別会計）

きれいで安全な水道水を供給するため、水道施設の充実を図っていきます。また、今年度から戸別浄化槽整備事業を行い、町内全域の生活排水処理を進めます。

・水質検査委託	5,269千円
・サイフォンフィルター整備工事	8,000千円

・取水・送水ポンプ取替え工事	5,000千円
----------------	---------

・道路改良工事支障箇所給配水管等 布設替設計	1,000千円
---------------------------	---------

・道路改良工事支障箇所給配水管等 布設替工事	20,000千円
---------------------------	----------

・農業集落排水処理施設維持管理	6,345千円
-----------------	---------

・山方用水処理施設工事	2,331千円
・戸別浄化槽整備工事費	92,596千円

● **住宅用太陽光発電システム設置費補助事業**
環境に優しい太陽光を利用し、発電システムを導入するご家庭に1キロワット当たり10万円の補助を行います。

・住宅用太陽光発電システム
設置費補助 1,500千円



● 環境衛生事業

快適な住環境を目指し、引き続き生ゴミ処理機購入補助を行うとともに適切なゴミ収集・処理を行います。

・可燃ゴミ収集委託 14,345千円
・生ゴミ処理機購入費補助 490千円
・大宮地方環境整備組合分担金
(ゴミ・し尿処理) 94,639千円
・大宮地方広域組合衛生費分担金
(火葬場) 19,973千円

● **中山間地域等直接支払事業**
中山間地域の耕作放棄地を防止するため12年度から急傾斜地の田等に交付金を支払っています。16年度は約34.5haの急緩傾斜の田が対象になり、交付金が支払われます。

・中山間地域直接支払費交付金 4,243千円

● **水田農業経営確立対策事業**
おかげさまで15年度の生産調整目標面積は達成されました。16年度からは制度が変わり、生産面積の割り当てが行われますので引き続きご協力をお願いいたします。

・生産調整推進対策助成金 10,480千円

産業の振興の ために

● **商工業振興事業**
町内の商工業振興のため引き続き商工会への補助、自治金融への補助を行っています。

・町商工会補助金 5,500千円
・自治金融保証料・利子補給補助金 4,020千円

● **林業振興事業**
県内産の木材を使用した住宅の新築、増築などに60万円を限度とした補助を行います。

・松くい虫被害木伐倒・防除 2,310千円
・地域生産材使用住宅建設費補助 3,000千円
・森林整備地域活動支援交付金 7,672千円

● **農道整備事業**
大字山方大久保地内の須田道西地区に幅員4m、延長170mの農道を整備します。

・農道等調査測量設計 1,000千円
・農道改良工事(須田道西地区) 15,000千円



● **観光事業**
引き続き観光協会への助成を行い「あゆの里まつり」「芋煮会」の充実を図るとともに、「三太の湯」周辺などの整備を行います。

・町観光協会補助金 18,300千円
・深串川修景整備 3,100千円
・三太の湯直売所設置工事 1,200千円



● 障害者福祉事業

障害者の相談業務やバリアフリー対策などを含め、障害のある方でも安心して生活できる町づくりを進めます。

・ 障害福祉、介護支援相談業務委託	3,440千円
・ 重度身体障害者 住宅リフォーム補助金	1,600千円
・ 身体障害者補装具交付・修理費	2,045千円

● 保健衛生事業

住民のみなさんの健康を守るため、引き続き各種健康診断、予防接種などを行っています。

・ 結核健康診断委託	2,106千円
・ 婦人の健康づくり検診委託	390千円
・ 予防接種委託	2,291千円
・ インフルエンザ予防接種委託	4,200千円
・ 妊婦、乳児健康診査委託	855千円
・ 高齢者各種検診委託等	35,619千円

● 消 防

消防施設の充実を図るため、野上、照山、諸沢、盛金地区にそれぞれ1基の防火用貯水槽を設置します。

・ 防火用貯水槽新設工事	16,800千円
・ 大宮地方広域組合消防費分賦金	122,654千円

● 生涯学習の充実

引き続き各種講座を開催するとともに体育協会、文化協会などへの助成を行います。

・ 各種講座講師謝金	2,941千円
・ 体育協会補助金	3,664千円
・ 文化協会補助金	2,300千円
・ 中央公民館改修工事	23,000千円
・ 町営野球場トイレ改修工事	18,641千円

● 社会福祉事業

社会福祉協議会、国保や介護保険特別会計に助成を行い、細やかな福祉サービスを目指します。

・ 町社会福祉協議会補助金	3,000千円
・ 国民健康保険特別会計繰出金、 基盤安定繰出金	44,783千円
・ 介護保険特別会計繰出金	73,492千円

● 児童福祉事業

少子化が進むなかでの対策として、出生奨励金制度（第3子以降に50万円）、子育てサポーターの設置、学童保育事業などを行います。

・ 出生奨励金	3,500千円
・ 子育てサポーター設置事業委託	510千円
・ 学童保育臨時保育士賃金	3,488千円
・ 山方町保育所改修工事	10,500千円



健康で安心な 生活のために

● 高齢者福祉事業

高齢者祝金、温泉訪問入浴サービス、老人医療の充実など高齢化社会に対応する各種事業を進めています。

・ 高齢者センター浴室改修	5,000千円
・ 高齢者祝金	8,142千円
・ 三太の湯訪問入浴サービス 事業委託	2,892千円
・ 老人保護措置費	16,144千円
・ 老人保健特別会計繰出金	66,674千円

● 総合病院建設事業

大宮町に建設される総合病院「(仮称) 県北西部地域中核病院」建設事業費の負担を行います。

・ (仮称) 県北西部地域中核病院 負担金	28,000千円
--------------------------	----------

● 学校教育の充実

小学校の少人数学級を実現するため臨時講師を配置します。また、引き続き学校施設の充実を図っていきます。

・ 小学校臨時講師賃金	9,600千円
・ 山方南小プール塗装工事	4,200千円
・ 中学校テニスコート改修工事	20,381千円
・ スクールバス運行委託	19,984千円

教育・生涯学習・ スポーツ・文化の 振興のために

平成16年度山方町予算総括表

(単位：千円、%)

会計区分		本年度予算額	前年度予算額	比較	対前年度増減率
一般会計		3,790,000	3,740,000	50,000	1.3
特別会計	国民健康保険	647,000	630,000	17,000	2.7
	簡易水道事業	190,000	259,700	△ 69,700	△ 26.8
	老人保健	950,000	963,000	△ 13,000	△ 1.3
	宅地開発分譲事業	113,000	157,000	△ 44,000	△ 28.0
	農業集落排水事業	34,400	40,900	△ 6,500	△ 15.9
	介護保険	505,000	462,000	43,000	9.3
	公営墓地事業	2,111	6,061	△ 3,950	△ 65.2
	戸別浄化槽整備事業	113,000	0	113,000	—
合計		6,344,511	6,258,661	85,850	1.4

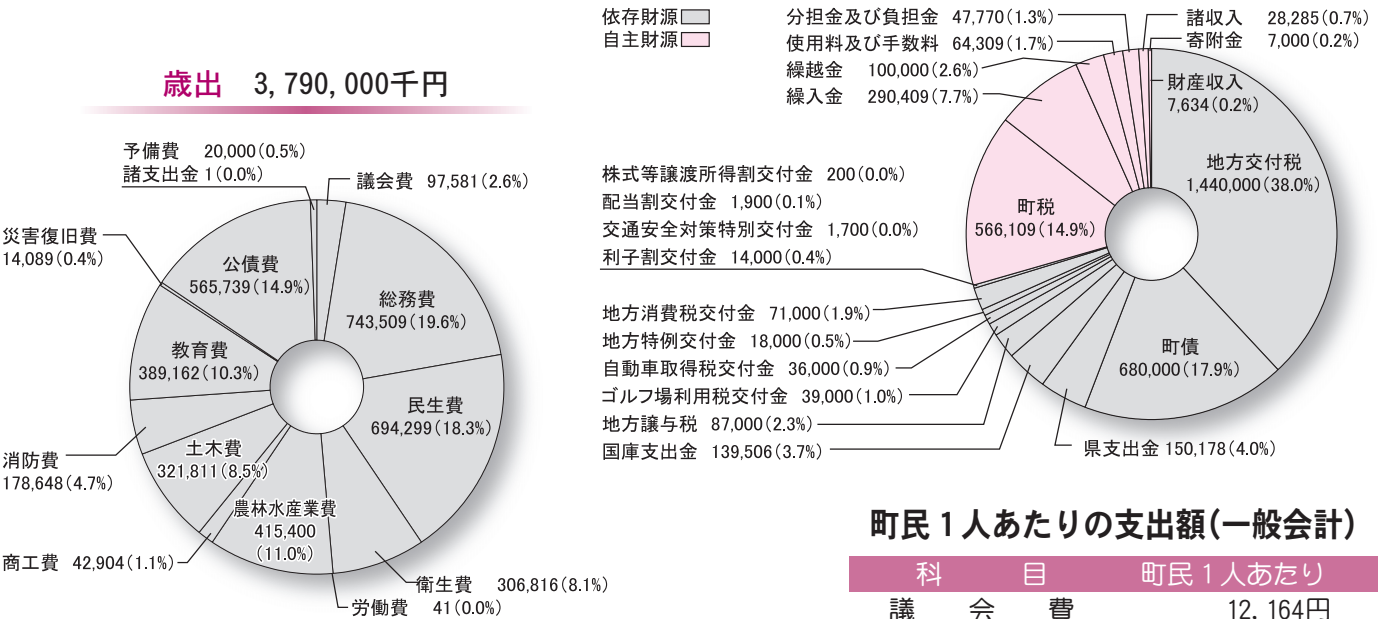
グラフで見る一般会計予算

(単位：千円)

目的別

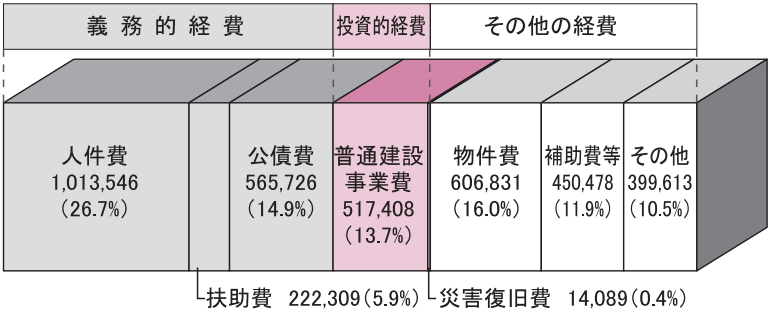
歳入 3,790,000千円

歳出 3,790,000千円



性質別

一般会計性質別歳出 3,790,000千円



町民1人あたりの支出額(一般会計)

科目	町民1人あたり
議会費	12,164円
総務費	92,684円
民生費	86,549円
衛生費	38,247円
労働費	5円
農林水産費	51,783円
商工費	5,348円
土木費	40,116円
消防費	22,270円
教育費	48,512円
災害復旧費	1,756円
公債費	70,523円
諸支出金	0円
予備費	2,493円
合計	472,451円

※平成16年4月1日現在の人口で算出

常陸大宮市の

「新市まちづくり計画」

(新市建設計画)

豊かな自然と調和した 安心・快適な活力のまち

新市の基本理念と将来像

◆基本理念

少子・高齢化、地方分権、情報化、広域化など社会情勢の大きな変革の中で、最も身近な行政機関である市町村に対する住民の要望は多様化してきています。

一方、近年の景気低迷により、地方自治体の財政状況は厳しさを増しています。このような状況の中で、地方分権への対応・財政基盤の強化行政サービスの効率化などが求められています。

また、本地域の特色である水や緑豊かな自然環境を守り育むとともに、それらを活用することが重要となっています。

これらの点を踏まえ、合併後の新市は、次の3点をまちづくりの基本理念と定め、住民と協働して速やかな地域の一体化と均衡ある発展を目指します。

“安心して暮らせるまちづくり”

新市は、少子・高齢化社会にも対応できる保健・医療体制を構築し、子供から高齢者まで、健やかに安心して暮らせるまちづくりを目指します。

“豊かな自然と快適なまちづくり”

新市は、豊かな緑や美しい清流などの自然環境に恵まれています。この自然環境を守り、活かしつつ、社会基盤の整備された便利で快適なまちづくりを目指します。

“ふれあいと活力あるまちづくり”

新市は、教育・文化を振興し、豊かな心を育み、人々のふれあいを大切にするとともに、産業や経済を発展させ、安定して働ける活力あるまちづくりを目指します。

◆将来像

豊かな自然と調和した安心・快適な活力のまち

本地域の人々は、豊かな緑に囲まれ清流とともに生活してきました。

また、5町村の総合計画に見られるように、新市が目指す将来像は、都市型のものではなく、豊かな自然と共生した快適な生活の場です。この将来像は、豊かな自然を守り、活かしながら、人に優しく安全で快適な活力のあるまちづくりを進めていくことを表現したものです。

3月8日に大宮町・山方町・美和村・緒川村・御前山村の合併協定調印が行われ、各市町村で議決されたことにより、10月16日に常陸大宮市が誕生することになりました。この協定に盛り込まれた「新市まちづくり計画(新市建設計画)」での新市の将来像を「豊かな自然と調和した安心・快適な活力あるまち」としています。新市建設計画は、合併後のまちづくりをどう展望できるのかという新市の総合的なまちづくりの基本(マスタープラン)となる重要な計画となるとともに、この計画により合併特例法に基づく様々な財政措置を受けることができます。

※合併協議会HPアドレス

<http://business3.plala.or.jp/oymogki/>

新市建設計画における重点事業

次の事業については、新市建設計画における重点事業と位置付け事業を推進します。

● 地域中核病院整備事業

県北西部地域では、地域医療の核となる地域中核病院の整備が喫緊の課題となっています。

高度な医療の需要に対応するため、近隣市町村と連携して地域中核病院を整備し、高度医療及び救急医療体制の充実を図ります。

● 市内循環交通システムの構築

住民の生活交通を確保するため、市内を循環するコミュニティバス等の交通システムを構築し、市内移動の利便性の向上を図ります。

● 森林保全基金（仮称）の創設

新市面積の約6割を占める森林は、新市の大切な財産です。水源かん養、自然環境の保全や活用など、森林の持つ公益的機能の維持強化を図ることを目的とした、森林環境緊急保全事業等を円滑に推進するため、森林保全基金（仮称）を創設します。

県知事へ合併申請書を提出



5町村間の合併協定の調印が済み、合併協議が整ったことにより大宮町、山方町、美和村、緒川村、御前山村の町村長が、3月31日に県庁で橋本知事へ合併申請書を提出しました。

県では、この申請を受けて総務省との協議を行い、6月に開会される県議会第2回定例会に合併議案を提出する予定です。議決されると知事が決定し、総務大臣へ届出が行われた後、官報で告示され、合併の法的手続きがすべて終了します。

新市まちづくりの方針

基本理念や将来像を踏まえながら、次の6項目を新市のまちづくりの方針とします。

◆ 健やかに安心して暮らせるまちづくり

住民が健康で、かつ安心して生活していくためには、各種健康づくりの施策を充実するとともに、地域医療の中核となる病院の整備などが重要です。

さらに、保健・医療・福祉が連携することにより、高齢者や障害者などが安心して暮らせ、子供たちが健やかに育つような環境づくりが必要となっています。

そのため、互いに助け合い支え合う住民主体の地域福祉を推進するとともに、介護保険をはじめとする高齢者や障害者の福祉施策の充実、子育て支援施策の強化拡充を図ります。

また、地域中核病院の整備による医療体制の強化、住民と行政が一体となった健康づくりの推進など健やかに安心して暮らせるまちづくりに努めます。

◆ 豊かな自然と調和した住みよいまちづくり

住民生活の向上を図る上では、それぞれの地域の特性に応じた生活基盤整備が必要であり、住民の要望もますます多様化していくものと予想されます。

路線バスの充実や地域内を結ぶ交通システムの構築を図るなど、公共交通機関の拡充に努めるとともに、道路網や市街地の整備、河川の改修など、豊かな自然と調和した住みよいまちづくりを進めます。

◆ 人に優しく安全で快適なまちづくり

住民が快適に暮らしていくためには、上・下水道、住宅などの整備を進めることが必要です。特に、若者の定住促進のためにはこれらの整備が不可欠となっています。

各種の生活環境の整備を図るとともに、防災や防犯など住民の安全にも配慮した、人に優しく安全で快適なまちづくりを進めます。

◆ 活力にあふれ安定して働けるまちづくり

近年、景気の低迷により、本地域においても就労環境は厳しい状況に置かれています。

本地域が発展していくためには、産業の振興を図ることで、雇用機会を拡大することが必要となっています。

そのため、地産地消を基本とした農林業施策を展開するとともに、魅力ある商店街づくりに努めます。また、企業を誘致して就労の場を確保するなど、活力にあふれ安定して働けるまちづくりを進めます。

◆ 個性と文化を育むふれあいのまちづくり

本地域における優れた伝統や文化は、住民の誇りです。

また、一人一人の人格と個性を尊重した教育環境を充実するとともに、広い視野を持った人材を育成するため、他地域との交流を積極的に進めることが必要です。

そのため、優れた伝統や文化の保存・伝承に努めるとともに、個性を活かす教育環境の整備を図ります。さらに、各世代に応じたスポーツの振興や自主的な活動による生涯学習を積極的に推進するなど、個性と文化を育むふれあいのまちづくりに努めます。

◆ 協働のまちづくり

住民が地域を自らの手によって創造するためには、住民一人ひとりが行政に関心を持つとともに、住民相互が連携してまちづくりを進める必要があります。

そのため、行政は情報提供を十分行うとともに、適切な連携体制を構築し、住民の意見を的確に反映することができる協働のまちづくりを進めます。

“三太の湯”入館者70万人達成！

開館から4月で4年となる「すこやかランド三太の湯」の入館者が3月24日で70万人を達成しました。

この日、記念すべき70万人目のお客様となったのは、江戸崎町からおいでになった武藤幸男さん。武藤さんは「家から片道100kmありますが、開館以来毎月3回ぐらいずつ来ています。いつも帰りには温泉を100リットル汲んで帰ります。」と三太の湯がたいへんお気に入りの様子でした。武藤さんと前後賞となったみなさんには、特産品などの記念品と切り絵作家の富山明峰さんから切り絵がそれぞれプレゼントされました。



4mの「沢又三太」が登場



町が三太の湯前に整備している「22世紀の森」に高さ4mの巨人伝説「沢又三太」像が完成しました。

「沢又三太」は、諸沢地区に古くから伝わる巨人伝説に登場する大男で、「三太の湯」の名前のもととなったものです。町では「自然環境保護林条例」の制定をするなど、自然環境の保護にも力を入れており、この三太の像が将来に向かって、山方地域の環境保全の監視役となることでしょう。

廃校を利用して作品展

3月14日から23日の10日間、旧舟生分校を利用して東京造形大学の学生11人が主催する“「学校」の記憶”と題した作品展が行われました。期間中、町内外から約800人が訪れ、学生たちの作品を鑑賞し、さまざまなメッセージを残してくれました。また、この廃校プロジェクトをとあして、学生たちは農作業を手伝ったり、食事をともにしたり多くの地域のみなさんとの出会いの中で、彼らの目指した新たな学校という「場」の在り方についての何かを見つけたようでした。



山方コーラス会51名が熱唱



音楽を通して農山漁村の豊かな人間関係の形成や、伝統・文化の継承を目的に「県ふるさと音楽祭」が3月7日に県民文化センターで県内の23グループが参加して、開催されました。山方町からは「山方コーラス会“やまびこ”」の子ども9名を含む51名が参加、曲名「小さな四季の歌」のさわやかなハーモニーを披露しました。

“奥久慈うるし”を使った作品展を開催

山方漆ソサエティー（Y.U.S）主催の作品展「漆（うるし）、その未来展」が3月13日から21日まで大字舟生の「ギャラリー奥久慈」で開催されました。

Y.U.Sは、町の漆教室で培った漆塗りの技術をさらに研鑽し、奥久慈漆を広く啓蒙するため、毎月教室を開いて作品作りに励んできました。今回の作品展ではその中から30点と川又南岳、稲川武男、桐原道明、辻徹の各先生方、漆工芸荻房からの協力で出品された50点が展示されました。また、県内外から募集した30名を対象に「漆体験スクール」の開催や漆樹による草木染などを行い、奥久慈漆のPRに努めました。





限らない未来に

山方南小学校 校章・校歌披露式

校章は3校の再編により誕生した山方南小学校の限らない未来を3枚の若葉に希望を託したデザインとなっています。



▲保護者や地域の方も参加して行われた校章・校歌披露式



▲校章デザイン者の石川恵美子さん、校歌作詞者の村田さち子さん、校歌作曲者の池辺晋一郎さん（左から）

学校再編により、昨年4月から新しく山方小学校と山方南小学校がスタートし、町で校章と校歌の制作を進めていましたが、このほど両校の校章と校歌が完成し、山方南小学校の校章・校歌披露式が3月18日に行われました。

山方南小学校の校章は公募したデザイン111点の中から、長田在住の高校生石川恵美子さんの作品が原案として採用され、選考委員の補正により完成しました。校歌の作曲には、国内外で数々の權威ある賞を受賞し、NHK大河ドラマの主題歌を作曲するなど日本の音楽界屈指の池辺晋一郎氏を、作詞には、学校教育音楽をはじめ、合唱団や児童書・絵本の作詞、有名な歌謡曲の作詞など幅広い分野で活躍中の村田さち子氏を依頼して立派な校歌が完成しました。池辺氏と村田氏はコンビを組んで多くの校歌などを作詞・作曲しています。



▲町から学校へ校旗の授与

作曲者の池辺先生の指揮で全員が新しい校歌を斉唱しました。



山方南小学校校歌

限らない 未来に

作詞：村田さち子
作曲：池辺晋一郎

元氣よく（♩ = 116）

1 はて しない だい ちから わきあがる う た ご え
2 うまれたの たいようと はねあよく じ が わ
3 ほし たちの かなたから やわらかな み な みかぜ

1 こはみな み しょう みん な の うちゅ う
2 こはみな み しょう みん な の うちゅ う
3 こはみな み しょう みん な の うちゅ う

1 こからひろ がる きほ う の そら を みん
2 こからはじ まる じぶ ん の ち ず を つば
3 すてきなで あい を かさ ね た あ と に みん

1 な であか る く もっとあかるく めっていこう ね！ -
2 さ をひろ げ て もっとひろげて かいてみよう ね！ -
3 な がやさ し く もっとやさしく なれたらいい ね！ -

「限らない 未来に」

果てしない 大地から
湧きあがる 歌声
こは南小 みんなの宇宙
こから広がる 希望の空を
みんなで 明るく
もっと 明るく 塗っていきましょうね！

生まれたての 太陽と
跳ね泳ぐ 久慈川
こは南小 みんなの宇宙
こから始まる 自分の地図を
翼を ひろげて 描いてみようね！
もっと ひろげて

星たちの 彼方から
やわらかな 南風
こは南小 みんなの宇宙
すてきな出会いを 重ねた後に
みんなが やさしく
もっと やさしく なれたらいいよね！

収入役に細貝一郎氏を再任



平成16年4月16日に収入役の任期が満了になるのに伴い、3月に開会された第1回町議会定例会において細貝一郎氏を収入役に選任することの議会の同意を得て、再任されました。

監査委員に菊池泰弘氏を再任



平成16年4月23日に監査委員の任期が満了になるのに伴い、3月に開会された第1回町議会定例会において菊池泰弘氏を監査委員に選任することの議会の同意を得て、再任されました。

日本さくら祭り

「さくら功労者」として表彰

「(財)日本さくらの会」(会長・河野洋平)の主催する第39回さくら



祭り中央大会において10名の表彰者の一人として大字西野内の細貝基さんが「さくら功労者」として表彰されました。今回の表彰は、細貝さんが自然景観を保護する目的で桜の植樹を提案し、家と楽、諸沢地区の道路沿線に地域の方々の協力を得て、約3,000本の桜を植樹。その後も桜の愛護に努め、地域の景観保全に尽力した功績が認められたものです。

献血俳句コンテストに入選



「献血」をテーマに人の命や感動を俳句に表現して献血の重要性を認識し、献血への親近感を深めてもらうことを目的に日本赤十字社が主催する「献血俳句コンテスト」に大字舟生の尾木よねこさんが入選しました。入選作品

「献血もりんご狩りにもふたりして」

保健衛生功労者として表彰



食生活改善の活動が認められ、大字家と楽の石井てる子さんと大字山方の根本紀子さんが大宮保健所長、保健衛生推進協議会長からそれぞれ表彰されました。

全日本スキー技術選手権に出場

3月に長野県の八方尾根スキー場で開催された全日本スキー技術選手権に大字盛金の川野辺仁一さん(山方スキークラブ)が出場を果たしました。この大会は、全国から選ばれたスキーの精鋭たちが最先端のスキー技術を競うもので、全日本スキー連盟が毎年開催しているものです。川野辺さんは県大会、北関東大会で優秀な成績を収めたことにより見事出場のチャンスを掴みました。結果は、惜しくも決勝戦には残ることができませんでしたが、今後の活躍が期待されます。



ゼッケン93番の川野辺さん

第8回わくわく美術展入選者

(敬称略)
平成16年2月27日～3月7日
県民文化センター

●工芸・彫刻の部

篠田宣秋・鈴木直介

●書の部

堀江文男・木村 新

●写真の部

大森正義

第34回町民剣道大会結果

平成16年3月20日…山方中学校

●小学生低学年の部

優勝 大森 悠資
準優勝 岡崎 浩平
第3位 木村 祐人
第3位 金子 裕佑

●小学生女子の部

優勝 木村 里沙
準優勝 吉田 沙織
第3位 小野瀬聡美
第3位 大高由莉子

●小学生高学年の部

優勝 神長 涼太
準優勝 鈴木 明
第3位 小野瀬仁史
第3位 小野瀬俊輔

●中学生女子の部

優勝 高村 佑子
準優勝 大森 彩弓
第3位 猿田 愛美
第3位 戸田まなみ

●中学生男子の部

優勝 大高 弘嗣
準優勝 鈴木 成明
第3位 小野瀬篤史
第3位 大森 公平





医療福祉費支給制度のご案内

医療福祉制度の申請はお済みですか？

医療福祉費支給制度（マル福）とは

妊産婦、乳幼児、父子家庭の父子、母子家庭の母子、重度心身障害者等などが健康保険を使って医療機関で診療を受けた場合、自己負担する費用分を県と町が助成する制度です。

医療福祉費の受給者は

山方町に住所がある方で、各種医療保険に加入している方のうち次のいずれかに該当する方です。

ただし、それぞれ扶養人数に応じた所得制限があり、これを超える所得のある方は受給対象となりません。

▼妊産婦

○母子手帳の交付の月の初日から出産日の月の翌月の末日

▼乳児・幼児

○1歳未満の乳児、1歳以上3歳未満の幼児

▼父子家庭の父子、母子家庭の母子

○配偶者のない男性及び女性で18歳未満の児童を養育している方とその子

○配偶者のない男性及び女性で20歳未満の障害児及び高校在学者を養育している方とその子

▼重度心身障害者等

○身体障害者手帳の交付を受けた者で、1級または2級の障害に該当する者及び内部障害またはヒト免疫不全ウイルスの免疫の機能障害による3級に該当する者

○児童相談所または更生相談所において、知能指数が35以下と判断された者

○身体障害者手帳の交付を受けた者で、3級の障害に該当しかつ児童相談所または更生相談所において、知能指数が50以下と判断された者

○療育手帳の交付を受け、判定が「A」とされた者

▼幼児特例

○3歳から就学前幼児

医療福祉費の

受給申請をするには

次の書類をご持参のうえ、役場住

民課医療保険係で申請をして下さい。

申請の前年度以降に県外から転入された方は、当町での所得確認が必要ないため所得のわかる書類が必要となります。また、県内から転入された方は、前市町村の発行する「医療福祉費受給者証交付証明書」を提出して下さい。

▼妊産婦

健康保険証、印鑑、母子健康手帳、預金口座のわかる書類（通帳）

▼乳児・幼児

健康保険証、印鑑

▼父子家庭の父子、母子家庭の母子
健康保険証、印鑑、戸籍謄本等（町外に本籍のある方）

▼重度心身障害者等

健康保険証、印鑑、身体障害者手帳、年金証書または療育手帳

▼幼児特例

健康保険証、印鑑、預金口座のわかる書類（通帳）

医療福祉費で病院・診療所に

かかるときには

▼県内の医療機関で診察を受けるとき（幼児特例は除く）

次のものを医療機関の窓口に提示して下さい。

【健康保険証、受給者証、^①請求書（ピンクの用紙または^②支給申請

書（ブルーの用紙）

▼県外の医療機関等で診察を受けるとき・幼児特例

健康保険証を提示して通常の保険診療で一部負担金を支払って下さい。後日、次の書類をご持参の上、役場住民課医療保険係で申請を行って下さい。

【受給者証、医療機関から発行の領収書、印鑑】

医療福祉の届け出について

次のようなときは、受給者証を返還して下さい。

■町外に転出するとき

■死亡したとき

■父子家庭、母子家庭の方が婚姻したとき

次のようなときは、変更の届け出をして下さい。

■加入している健康保険が変わったとき

■住所、氏名、扶養義務者などが変わったとき

①医療福祉制度のことわからな

いことがありましたら、お気軽にお

問い合わせ下さい。

②お問い合わせ先

「あなたの声21」町長が答える

お蔭様で、3月30日に中核病院誘致の協定調印式が済み、翌31日は知事に合併申請書を提出しました。そんな慌ただしい中、平成16年度を迎えました。

さて、家と案のKKさんから「町村合併に依る新市名」についてご意見をいただきました。

「新市名募集については今迄の町村名は使用不可であるとの募集要項にあったにもかかわらず常陸大宮と決定した事について大変疑問に思っており」「募集要項の基本が簡単にほごされる様では今後の行政運営に大変疑問を感じます」

また、3月定例議会の一般質問で、木村勝昭議員から、「5町村の現在の名称を使用しない約束事がないと簡単に変わってしまうのか、多くの町民に理解されていない」と追及されました。

その他、多くの方々から同種のご意見をいただき、関心の高さを実感いたしております。

議会答弁は次のとおりです。

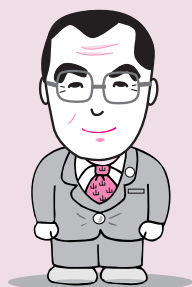
「協議会における(新市名称検討) 小委員会委員長の報告によると、現町村名は使用しない」の解釈について大変議論になったとのことであります。しかし『ひたち大宮市』を含む6案が協議会へ報告されたことを考えると、小委員会での協議において「現町村名は使用しない」と募集要領で規定した中で『ひたち大宮市』として使用することは可能であると解釈するに至ったものと理解しております」

重要で微妙な問題ですが、韓国人の呉善花^{おせんがわ}さんは、日本人のホンネ(実質)とタテマエ(原則)の使い方を、「シビアナ問題」の解決については、現実的な状況の動きに応じて、あるときは実質的な解決へと、適宜重点を移しながら実際に問題に対処していこうとするもので、日本人に特有な現実処理の方法である」(『日本が嫌いな日本人へ』)と述べておりました。傾聴に値する分析だと思えます。

あなたの声を町政に ご意見・ご要望などをお寄せ下さい

このコーナーは、21世紀にあたり町民の皆様が日頃町政に対して感じていること等をお寄せいただき、その一部をご紹介します、町長がお答えするコーナーです。

お寄せいただいた皆様の声は、今後の住みよい町づくりに役立ててまいりますので、町政に対するご意見・ご提案をお待ちしております。



送付先 郵便 〒319-3192 山方660 山方町役場 あなたの声21係
FAX 57-3992
電子メール hisyo@town.yamagata.ibaraki.jp
※ご意見・ご要望は「町長への手紙」、電子メールなどをご利用ください。

◎ 国民健康保険

【2月、3月に支払った医療費】

		一 般	退 職	合 計
2 月 (12月診療)	件 数	1,495件	573件	2,068件
	金 額	34,376,540円	11,851,330円	46,227,870円
	1件あたりの金額	22,994円	20,683円	22,354円
3 月 (1月診療)	件 数	1,494件	574件	2,068件
	金 額	34,468,960円	16,470,410円	50,939,370円
	1件あたりの金額	23,072円	28,694円	24,632円

◎ 老人保健

【2月、3月に支払った医療費】

		社 保	国 保	合 計
2 月 (12月診療)	件 数	817件	2,254件	3,071件
	金 額	23,308,783円	56,479,988円	79,788,771円
	1件あたりの金額	28,530円	25,058円	25,981円
3 月 (1月診療)	件 数	749件	2,227件	2,976件
	金 額	21,749,638円	56,182,864円	77,932,502円
	1件あたりの金額	29,038円	25,228円	26,187円

町の医療給付情報
住民課 医療保険係



山方町地球温暖化防止実行計画 を策定しました

計画の概要

平成9年12月に地球温暖化防止京都会議が開催され、「京都議定書」が採択されました。この中で日本は、平成20年から平成24年の間に温室効果ガスの排出量を平成2年比で6%削減することを公約しました。

平成11年4月に「地球温暖化対策の推進に関する法律」が施行され、地方公共団体は、自らの事務及び事業に関する温室効果ガスの排出を抑制する計画を策定し公表すると規定されています。このことから町でも今年2月に実行計画を策定しました。

この計画は、役場庁内で実行するための計画です。これを策定し実行することは地球温暖化に対する庁内の意識を高めるとともに経費削減につながります。また、町民に公表することにより、自治体自らが地球環境保全に対する姿勢を町民に指し示すことになり町民の環境に対する意識の向上にもつながります。

★計画期間・目標

○計画の期間は、平成16年度から平成20年度までの5年間です。

○平成20年度までに温室効果ガスを3%削減します。
対象は、町が実施する事務・事業で出先機関を含めたすべての施設です。

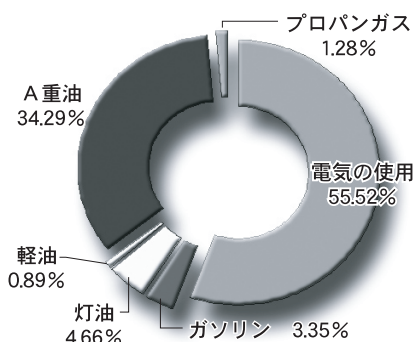
★削減のための主な取り組み

- ①昼休み時の照明は、必要最低限にします。
- ②公用車のアイドリング・ストップを励行します。
- ③空調機器の使用を抑制します。
- ④退庁時に、電気器具類の電源を切ります。
- ⑤日常的な節水の励行に努めます。

★削減のための間接的な取り組み

- ①用具・文具類はエコマーク・グリーンマークの付いた環境ラベリング商品を選択します。
- ②コピー用紙・プリンター用紙等は、古紙100%、白色度70以下の再生紙を使用します。
- ③リサイクル製品は、リサイクル回収に徹底します。

二酸化炭素排出の要因



平成14年度に町が実施した事務や事業から排出された温室効果ガスの量

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量(kg)	二酸化炭素換算値(kg)	構成比(%)
二酸化炭素	2,323,151.8	2,323,151.8	99.62
メタン	6.5	136.9	0.01
一酸化二窒素	12.4	3,857.7	0.17
HFC	4.7	4,941.3	0.21
温室効果ガス総排出量		2,332,087.7	100.00

■地球温暖化とは？

地球上では、大気中の窒素、酸素、二酸化炭素などが一定の濃度で存在することによって、太陽からの日射と地表面から放出される熱のバランスが保たれ、生物が生存できる環境を維持してきました。しかし、18世紀末の産業革命以降、石炭や石油など化石燃料の大量消費や森林の大量伐採などにより、大気中の二酸化炭素濃度が増加してきました。これにより、地表から放出される熱が大気に吸収され、温度が上昇するという「温暖化」が引き起こされます。

気候変動に関する政府間パネル（IPCC）によると、このまま温室効果ガスが排出され続けると2100年までに1990年と比較して地表付近の平均気温が1.4～5.8℃上昇するとされています。それにより、以下のようなことが懸念されています。

- ①海面水位の上昇に伴う陸域の減少
- ②豪雨や干ばつなどの異常気象の増加
- ③生態系への影響や砂漠化の進行
- ④農業生産や水資源への影響
- ⑤マラリアなどの熱帯性の感染症の発生数の増加

■温暖化防止のためにはどうしたらいいの？

○省エネルギーの推進

温室効果ガスの過剰な放出は、エネルギーの大量消費によってもたらされます。過剰なエネルギーの消費を少しでも減らすためには、一人一人の使用電力を少しでも減らすという心構えが必要です。

○新エネルギーシステムの導入推進

地球温暖化の原因である温室効果ガスは、主にエネルギー生産時に発生しており、化石燃料を使用した火力発電や、交通機関の使用はその主たる原因となっています。このため、風力発電や太陽光発電、燃料電池などのように、化石燃料に依存しない新しいエネルギーシステムの導入が必要です。

山方町役場 57-2121(代)

…… 各課直通電話 ……

秘書課	57-6821
総務課	57-2121
企画課	57-2123
税務課	57-2145
経済課(農業委員会)	57-6811
保健福祉課	57-6812
生活環境課	57-6819
建設課	57-6813
住民課	57-6814
出納室	57-6815
学校教育課	57-6817
生涯学習課	57-6818
中央公民館	57-2903
議会事務局	57-6820

…… 出先機関・その他 ……

山方町保育所	57-2053
学校給食センター	57-2803
ふるさと振興公社	57-3325
社会福祉協議会	57-6826

生ゴミ処理機購入に

補助金を交付します

毎日、家庭から排出する生ゴミの減量化を図るため、生ゴミ処理機等を購入する方に補助金を交付します。

●補助対象者 町内にお住まいの方で家庭の生ゴミを生ゴミ処理機等で堆肥化したものを自家処理できる方

●補助金の額

〔生ゴミ処理機〕

▼対象基数 1世帯1基

▼補助額 20,000円を限度とする購入価格(消費税相当額を除く)の2分の1に相当する額

〔土上設置型コンポスト化容器・EMぼかし菌使用密閉容器〕

▼対象基数 1世帯2基以内

▼補助額 3,000円を限度とする購入価格(消費税相当額を除く)の2分の1に相当する額
●問い合わせ 役場生活環境課

宅地分譲のご案内

●分譲地概要

○交通 JR水郡線「山方宿駅」より徒歩20分。国道118号より800m。

○給水 町営水道(宅地内引き込み済み)

○分譲地所在地及び価格

○分譲地名 「館」

○住所 山方町山方298-8

○区画 1区画

○面積 341.68㎡

(103.35坪)

○金額 683万円

●申し込み資格

●申し込みは、次に該当する必要がある。

○自ら住宅を建設するため宅地を必要とする方。

○町の指定する日に譲渡価格等の支払いが確実にできる方。

○土地の引渡し後、3年以内に住宅を建築し、居住できる方。

●申し込み方法

●受領資格

〔A〕昭和50年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法による大学(短期大学を除く)を卒業した人、もしくは平成17年3月31日までに卒業見込みの人。または人事委員会がこれと同等と認める人。(平成17年4月1日現在29歳以下)

〔B〕昭和50年4月2日から昭和62年4月1日までに生まれた人で、警察官Aの受験資格に該当しない人。(平成17年4月1日現在18~29歳)

●受付期間 7月1日(木)~8月27日(金)

申込書に所要事項を記入の上、役場経済課林政係に提出してください。(申込書は、役場経済課にあります。)

●問い合わせ 役場経済課

茨城県警察官採用試験のお知らせ

●受験資格

〔A〕昭和50年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法による大学(短期大学を除く)を卒業した人、もしくは平成17年3月31日までに卒業見込みの人。または人事委員会がこれと同等と認める人。(平成17年4月1日現在29歳以下)

〔B〕昭和50年4月2日から昭和62年4月1日までに生まれた人で、警察官Aの受験資格に該当しない人。(平成17年4月1日現在18~29歳)

●受付期間 7月1日(木)~8月27日(金)

平成15年度のシートベルト着用調査 年間集計結果 (協力: ヤッホーふれあいの会)

月	調査日	運転席			助手席			合計			調査場所
		着用数	台数	着用率	着用数	台数	着用率	着用数	台数	着用率	
4	4月25日(金)	458	525	87.2	71	97	73.2	529	622	85.0	山方宿駅前
5	5月20日(火)	377	418	90.2	53	64	82.8	430	482	89.2	山方宿駅前
6	6月15日(日)	371	422	87.9	65	79	82.3	436	501	87.0	山方宿駅前
7	7月25日(金)	725	790	91.8	85	105	81.0	810	895	90.5	山方宿駅前(県下一斉調査)
8	8月1日(金)	180	198	90.9	15	16	93.8	195	214	91.1	常陽銀行山方支店前
9	9月4日(木)	129	145	89.0	16	22	72.7	145	167	86.8	役場前
10	10月1日(水)	218	233	93.6	23	29	79.3	241	262	92.0	山方宿駅前
11	11月6日(木)	223	256	87.1	23	41	56.1	246	297	82.8	山方宿駅前
12	12月4日(木)	214	241	88.8	27	37	73.0	241	278	86.7	山方宿駅前
1	1月15日(木)	185	218	84.9	22	32	68.8	207	250	82.8	山方宿駅前
2	2月17日(火)	158	190	83.2	10	18	55.6	168	208	80.8	山方宿駅前
3	3月15日(月)	190	220	86.4	24	32	75.0	214	252	84.9	山方宿駅前
年間合計		3,428	3,856	88.9	434	572	75.9	3,862	4,428	87.2	

●試験 〔第1次試験〕9月19日(日)(教養試験・論文試験・身体体力検査)
〔第2次試験〕10月12日(火)

水戸地方事務局
茨城県人権擁護委員会

5月1日から7日までは
憲法週間です
基本的人権の尊重は日本国憲法の重要な柱の一つであり、すべての人の人権が尊重される社会が実現されなければなりません。人権問題でお困りのときは、最寄りの法務局の人権相談所又は人権擁護委員会までご相談ください。

10月14日(木)(口述試験・適性検査・身体精密検査)

町職員人事異動

平成16年4月1日付
() 内は前任

【秘書課】

課長 海老根一雄(税務課長)

【総務課】

課長 高林 匠(秘書課長)

課長補佐 小野瀬義則

(総務課主査兼庶務係長)

主査兼庶務係長 國松 章

(建設課主査兼土木施設係長)

【税務課】

課長 佐藤 則夫

(経済課長補佐兼地籍調査係長)

住民税係主幹 高橋 誠二

(経済課農政係主幹)

【経済課】

課長兼農業委員会事務局局長

三次 重雄(総務課長補佐)

課長補佐兼地籍調査係長

富田 淳史(主査兼農業振興係長)

農業振興係長 木村 寛

(税務課住民税係主幹)

【生活環境課】

課長補佐兼水道係長

立原 正雄(課長補佐)

【建設課】

主査兼土木施設係長

大貫 保美

(生活環境課主査兼水道係長)

【住民課】

課長 鹿島 章

(経済課長兼農業委員会事務局局長)

【出納室】

主査兼支出係長 後藤 輝満

(総務課主査兼管財・検査係)

【学校教育課】

課長補佐兼学校教育係長

木村 唯弘

(出納室主査兼支出係長)

【新規採用】

総務課管財・検査係主事

鈴木 大介

保育所保育士 坪 沙織

【退職】

○小林 弘之(総務課長)

○根本 鈴子(住民課長)

○木村さた子

(学校教育課長補佐兼学校教育係長)

教職員定期異動

平成16年4月1日付
() 内は前任校

【転入・配置換】

○校長

山方小 三次 克(柴崎小)

山方中 三次 克巳(さほら小)

○教頭

山方中 池田 勇人(山方南小)

○教諭

山方小 小室かおる(大場小)

山方小 高橋 彩子(横堀小)

山方中 松山 知曉(新規採用)

○係長

山方小 宇野 佳都(天宮小)

【転出】

○校長

小瀬小 山崎 一美(山方中)

○主査兼普及課長

県立図書館 小堀 修弥

○教諭

大宮西小 増子 弘子(山方小)

隆郷小 木村 晴美(山方小)

隆郷小 湖口 悟(山方中)

○係長

大宮西小 仲田美津江(山方小)

【退職】

○校長

山方小 成田 實

山方中 菊池寛一郎

5月22日(土)

山形由美フルートコンサート



山形由美(フルート)

- ◆会場◆ 山方町中央公民館
- ◆開演◆ 午後1時30分
- 入場無料



山内知子(ピアノ)

◆プログラム◆

【第1部】 名曲の調べ

- ◆エルガー 愛のあいさつ
- ◆J・S・バッハ 「管絃楽組曲第2番」よりボロネーズとパディネリ
- ◆ドブラー ハンガリー田園幻想曲
- ◆ドヴォルザーク ユモレスク
- ◆ジュナン ヴェニスの謝肉祭

【第2部】 映画音楽の楽しみ

- ◆ロジャーズ 「サウンド・オブ・ミュージック」よりドレミの歌
- ◆木村 弓 「千と千尋の神隠し」より いつも何度でも
- ◆ロータ ロミオとジュリエット
- ◆バーンスタイン 「ウエストサイド物語」より トゥナイト・マンボ

※曲目は変更の可能性がありますので、予めご了承下さい。

＊善意をありがとう＊

●木村則幸氏・宇都宮孝和氏から

山方小学校へ「校章銘板」の寄贈

山方小学校の校歌完成を記念し、

木村則幸氏(大字山方・宇都宮孝和氏(長野県在住・山方町出身)の両氏から校歌の歌詞が刻まれた銘板が寄贈されました。

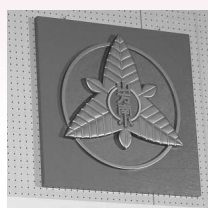
●伊東計氏から山方南小学校へ

「校章銘板」の寄贈

山方小学校・山方南小学校の校章

完成を記念し、伊東計氏(大字山方)

から両校の「校章銘板」が寄贈されました。



山方南小学校の体育館に掲げられた「校章銘板」



山方小学校の体育館に掲げられた「校歌銘板」

みなさんお元気ですか？

保健師です

保健福祉課 ☎57-6812

ぼくたち☆わたしたち 虫歯のないよい子です

4月から1年生になる虫歯のないお友達です。
これからも歯磨きを続けて、虫歯をつくらないようにしましょう。



金子 ^{あつや} 敦也ちゃん
(大字長田)



藤田 ^{ゆきな} 雪奈ちゃん
(大字山方)



木島 ^{さき} 彩希ちゃん
(大字山方)



小林 ^{まなみ} 愛実ちゃん
(大字山方)



青砥さくらちゃん
(大字盛金)



小野瀬 ^{あつみ} 篤美ちゃん
(大字山方)



直井 ^{そうた} 颯汰ちゃん
(大字山方)

●虫歯にしないために・・・

- だらだら食いをしないようにしましょう。
1日3食の食事のほか1日1回～2回とおやつ回数を決め、ジュース類は、食事の後やおやつのときに取りましょう。
- 歯垢（虫歯菌の原因）をつくる、糖分の多いものは控えましょう。
- 食事は栄養のバランスを考え、ゆっくりよく噛んで食べましょう。
- 歯磨きをしっかりとしましょう。
小学校低学年頃までは、親が最後の仕上げ磨きをしましょう。
- 定期的に歯医者さんで検診を受けましょう。



ブッカ先生の ワンポイント 英会話



Health 健康

Jones : I make the effort to use my brain and body.
頭と体を使うようにしています。

Kimura : You don't eat red meat , do you ?
肉は食べないんですか。

Jones : NO , I try not to eat meat as much as possible.
ええ。できるだけ食べないようにしています。

That's better for your body.
そのほうが体にいいですね。

Kimura : You practice the piano everyday.
毎日ピアノを練習します。
Can you play work by Beethoven?
ベートーベンの曲が弾けるようになりましたか。

Jones : No , not yet.
いいえ。まだ弾けません。
I want to play Beethoven soon.
早く弾けるようになりたいです。

今月のヘルシークッキング⑦

野菜を食べよう「キャベツ」……淡色野菜

キャベツの甘酢漬け

【材 料】(1人分)

キャベツ……………100g
ごま油……………小さじ1

《1人分64キロカロリー》

A (酢……………1/2カップ
砂糖……………大さじ1
塩・しょうゆ……各小さじ1/2
赤とうがらし

【作り方】

- ①キャベツは、1口大に切る。
- ②Aをボールに入れ、混ぜる。
- ③フライパンに油を熱し、①を炒め、油がなじんできたらとり出し、②につける。時々混ぜながら20～30分おいてなじませる。

※外側の葉は、やや固めなので、火を通した料理に。中間の葉は、いろいろ使用でき、中心の葉は、生で食べたり漬物などに向く。

●キャベツには、ビタミンUが含まれ、傷ついた胃腸に優しく作用します。胃壁の粘膜を丈夫にし、傷ついた胃壁の回復を助けたり、潰瘍を抑えたりする効果があります。また、ビタミンCも淡色野菜の中ではナンバーワンの含有量で、大きい葉1枚には1日に必要なビタミンCの約70%が含まれます。便秘、整腸にも効果があります。

山方町歴史民俗資料館コーナー

“平成15年度”

資料館は、4月1日でオープンから19年目に入りました。昨年度の入館者は、3,733人(小学生以上)で、土・日曜日は清流公園のミニ新幹線に乗る家族連れも多く、(幼児を除いた)未就学の子も含めると4,445人になります。昭和61年の以来の累計は137,518人となっています。15年度の開館日数は242日でした。資料は学校再編での旧久隆小・旧長田小からのもの、金砂大祭礼に関する絵巻、民具、寄贈本等208点増え、収蔵点数は計2,924になりました。両金砂神社の7日間の行程のビデオテープも揃いました。テープは他に中島藤衛門・西野内和紙(長田小作品)、火打ち道具(東京江戸博物館)などもありますのでいつでもご覧いただけます。資料貸出が2件(白河・龍ヶ崎市)ありました。小さい児にはミニ機関車、お年寄りには収蔵室の往時の民具に人気があり、喜ばれています。調査や研究での来館者では藤衛門翁の肖像画を描いた雅号「彭城」について詳しく教えて下さった方もいました。

地域の文化財、民具等先人の残した生活資料を保存し、後世に伝えるのが資料館設立の趣旨で、町内の方々からの寄贈は続いていますので更に充実していく事になります。

10月16日の町村合併を控え、「山方の歩み」(仮称)の特別展を開催する予定です。

〔写真〕昨年度の収蔵品から

▲金砂大祭礼絵巻・写真集



▲久隆金山使用道具類 (旧久隆小)



▲教材・貨幣 (旧長田小)



爺々連々ころばし(最終回)

文・堀江文男

語りつぎたい
続奥久慈の秘話

第11話

「あっ！ やっぱりこの崖から落ちてしまったのだ。こりや大変だ。」

と、誰かが大声で叫びました。近

所の人が命がけで、やっと羽織を拾

い上げて来ました。まぎれもなく亥

助爺さんのものです。みんながおそ

るおそる羽織を動かすたびに、袖の

あたりでゴソゴソと音がしました。

不思議に思っ中をさがすと、一枚

の紙が出て来ました。

『病気にはかてません。太郎や近

所の方々はご厄介をかけました。

私ども以上に苦しい生活に追われ

ている方も沢山あります。助け合い

ながらがんばって下さい。私ども

は、神々の生け贄となり再び生まれ

変わって来ます。南無三宝』

というように書きつけてした。

太郎は、ただ呆然と羽織を抱いた

まま、立ちすくんで声も出ません。

近所の人々も

「命がけなくたって……。可哀想

なことこの上もなしだ。あんな慈悲

深い方なのに……」

と同情するものばかりでした。

やがて、一年一年と村のくらしむ

きもよくなり、五穀豊穡の年がも

どって来ました。

それからというものは、誰いうと

なく、婆さんの落ちた崖を「婆々こ

ろばし」(別名 牛のように慎重に

歩く動物でも落ちるということ

で「牛ころばし」、爺さんの落ちた崖

を「爺々ころばし」(別名 鬼のよ

うな頑固な猛者でも落ちると命がな

いというところから「鬼ころばし」

と呼び、両親を背負って登った坂道

を「太郎坂」と呼んでいくと、古老

は悲しげに語っていました。そして

「年寄りというものは『体こそ

弱っていても、魂までは衰えている

ものではない』ということをも、身を

もって村人たちに教えたのでしょ

う。」と。

その崖の下には、白いバラぐみの

花が咲き、赤や黄色の実が熟れます。

「そのぐみの実はとって食べるな」

と親からいわれた、と教え兒たちが

語っています。

(おわり)

●この秘話は「姥捨伝説」ではない

かと申す方もありますが、姥捨伝説

では、昭和31年(1956)に深沢

七郎著「檀山節考」が発刊され、テ

レビ、映画化などで有名になりました。

た。しかし、当地方に、それ以前か

ら語り継がれていたことにおどろき

ます。

場所によっては「鬼ころばし」「人

落とし」「狼谷」などといわれている

るようです。

この棄老伝説では「口減らし」の

ために、飢饉の時などに領主などが

棄老を命じたといわれますが、実際

には、親の愛に対して捨てることを

やめたり、老人への畏敬の念に対し

て、その形だけで、わが家に連れも

どし隠居などに住ませたといわれ

ています。

こうして、老いをいたわる心は、

たとえ切羽つまった老人たちがこう

した死を選んだにせよ、後世に残さ

れた人々に伝わり神となつて救つ

ている、という気持ちを大切にした

いものです。

高齢化社会になればなるほど、失

われつつある老いを尊ぶ姿勢を見

直すお話にしたいものです。

まちのすがた

平成16年 3月1日現在 (前月比)

世帯数 2,749戸 (+1)

人口 8,037人 (-11)

男 3,939人 (-4)

女 4,098人 (-7)

面積 84.06km²

戸籍の窓

おめでとうございます
(3月届出分)

集落名	氏名	保護者
駒形 平(山)	方岡 凛奈	保 則
上の原(野)	上小室 莉未	道 二
梅 橋(長)	沢鈴木 香藍	賢 二

ご冥福をお祈りします
(3月届出分)

集落名	氏名	年齢
下小池2(山)	方井上 三次	101歳
余ノ倉(諸)	沢中島 敏男	72歳
神奉地(山)	方河野 徳次	75歳
南 (照)	田今野 正秀	72歳
仲 内(長)	田海老根 光男	65歳
市ノ沢(山)	方安掛 美代子	74歳
下仲合(諸)	沢會 宗一	60歳
久隆下(久)	隆岡崎 一男	65歳
高井釣(盛)	金堀江 忠夫	54歳
羽出庭(長)	田柏 ふみ	89歳

草の実

山方町俳句クラブ

金柑の苗木を植えて忌を修す

二方 月子

草萌や坂のある家二、三軒

鹿島 富士子

常夏の島人ひとの笑顔かな

根本 紀子

ふる里の母の思い出梅月夜

瀬尾 みよ子

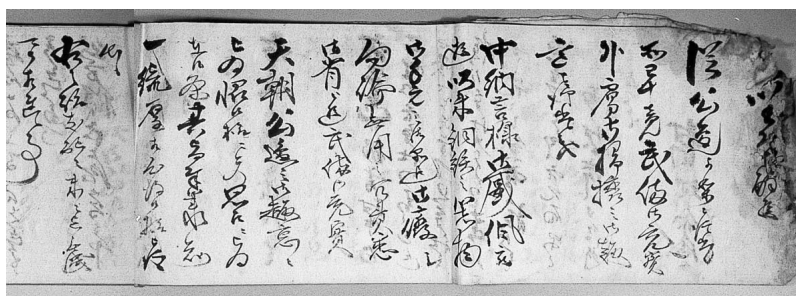
さえずりや邑いらばんの大櫓

尾木 よねこ

町の古文書 (147)

<写真と文・金子理一郎>

御配賦諸御用人足留帳 ③



以書附中触候

從公¹迎より被²仰出候所、畢竟武備御充³外、
虞御掃攘の御趣意被⁴仰出候義、中納言様御
感佩被⁵遊、以来銅鉄の器物御手元の御品迄御
痾シ勿論無用の冗費悉ク御省被⁶遊、武備御
充実、天朝、公迎の御趣意ニ被⁷為⁸協候様ニ
との思召被⁹為¹⁰在候条其旨奉¹¹承知、一統厚
相心得候様被¹²仰出候
右の趣支配々々迄無洩可被¹³相達候事

1 將軍家茂は、京都から江戸へ帰つてすぐ
に、水戸藩主徳川慶篤に、攘夷鎖港の命
が下ったことを伝達した。

慶篤は五月二十四日、鎖国実現に努力
するので、筑波勢天狗党と諸生派に対し
て、騒動を静めるよう命令を出している。
(水戸市史 中巻)

2 畢竟 ひつきょう。つまるところ。つま
り。結局。

3 外虞 外敵のこと。
掃攘 撃ちはらうこと。

4 中納言様 水戸藩主徳川慶篤。

5 感佩 かんぱい。心に深く感ずること。

※善意をありがとうございます※

○町へ(教育関係)

金200,000円

小室ちひろ 様 (大宮町岩崎)

○山方・山方南小学校へ

東金砂神社・

西金砂神社大祭礼写真集

柳下 征史 様 (大字西野内)

わたしの作品



全国きのこ料理コンクール優良賞
「そばがきステーキ
きのこソース



根本 紀子さん
(大字山方)

第1次書類審査、第2次審査の中川調理学園での料理実演で最優秀賞を受賞し、全国大会へ参加する機会を得ることができました。これも地域や食生活改善グループの皆様方のアドバイスや応援があったおかげと感謝しております。

3月に服部栄養専門学校で行われた全国大会では、6人の審査員の中で料理実演を行い、優良賞と特別賞をいただくことができました。審査員長で料理研究家の堀江泰子先生から「地産地消で独創性がある。」というお褒めの言葉もいただき、大変有意義な大会でした。

わが家の わんぱく



ゆう き
宇留野悠樹 ちゃん (H14.12.25生)
(大字山方)

お母さんからのメッセージ
わんぱくてもやさしい子になってね。

このコーナーに掲載させていただく「わたしの作品」(絵画・写真・書・その他、「わが家のわんぱく」(概ね3歳までのお子さん)を募集しています。秘書課公聴広報係までご連絡ください。

☎(02) 6821